

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、別添の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

産業標準案作成対象テーマ一覧(廃止)

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名 称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国 際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定	
JSA	01 基本	廃止	Z8201	数学記号	Mathematical Symbols	<p>この規格は数学記号を規定しており前回の改正以来40年を経ている。その間に対応国際規格であったISO 31-11は、ISO 80000規格群(量及び単位)の一部となり、ISO 80000-2として制定されている。</p> <p>ISO 80000規格群はJIS Z 8000規格群として多くのJISに引用されて、量、単位記号の表記及び使い方の拠り所となっている。その中でISO 80000-2は、今般の科学技術を記述するために“集合”、“行列”、“座標系”、“スカラー、ベクトル、テンソル”等の数学記号を含んでおり、JISでもこれらの記号の拠り所となる規格が必要となっている。</p> <p>こうした中で、この規格に代わり、JISの国際整合化のためにISO 80000-2を基としJIS Z 8000規格群の一部としたJIS Z 8000-2“量及び単位:数学記号”の制定を予定しているため、この規格を廃止する必要がある。</p>		無	無		2021年8月